

令和八年度前期選抜学力検査

国

語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問題用紙

注意

- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 三、問題は、**1**から**3**まで、八ページにわたって印刷してあります。
なお、問題用紙のほかに別紙があります。
- 四、「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄に受検番号を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

(一) 次の(一)～(八)の各問い合わせに答えなさい。 (十八点)

(一) 次の①～⑥の文の**傍線**部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

- ① 規則に基づいて判断する。 ② 信頼に背くことはしない。
- ③ 寒い日も辛抱して練習に行く。
- ④ 外で日光をあびる。 ⑤ 学校放送のせつびがある。
- ⑥ 研究のりょういきを広げる。

(二) 次の①、②の文の**傍線**部分の漢字として最も適当なものを、それぞれあとのア～エから一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 日本語の**きげん**を探る。 [ア、紀元] [イ、起源] [ウ、期限] [エ、機嫌]
- ② 問題の解決をはかる。 [ア、計] [イ、量] [ウ、図] [エ、測]

(三) 次の①、②の故事成語の**傍線**部分の漢字として最も適当なものを、それぞれあとのア～エから一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 一きよ両得 (意味：・一つのことをすることによって、二つの利益を同時に収めること。)
- ② わして同ぜず (意味：・人と親しく付き合っても、間違つた行いをともにするようなことはしない。)

[ア、居] [イ、許] [ウ、挙] [エ、去]

- [ア、輪] [イ、和] [ウ、羽] [エ、話]
- [ア、雲の形が羊のようだ。] [イ、明日の天気は雨のようだ。] [ウ、砂糖は白くて雪のようだ。]

(四) 次の文の**傍線**部分と用法・はたらきが同じものはどれか。あとのア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

決勝戦が始まるようだ。

[ア、雲の形が羊のようだ。] [イ、明日の天気は雨のようだ。] [ウ、あたかも夢のようだ。] [エ、砂糖は白くて雪のようだ。]

(五) 次の①、②の文の傍線部分は、（ ）の中の指示にしたがうと、どのようになるか。それぞれあのア～エから最も適当なものを一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 先生が資料を見る。（尊敬語を用いた表現に換える。）

〔ア、ご覧になる イ、拝見する ウ、見ます エ、お読みする〕

② 先輩から助言をもらう。（謙譲語を用いた表現に換える。）

〔ア、もらいます イ、いただく ウ、くださる エ、もらわれる〕

(六) 次の文の傍線部分が慣用句となるように、□に入る最も適當な言葉を、あとのア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

決断の□が熟したようだ。（意味：物事を始めるのに丁度よい時となる。）

〔ア、日 イ、実 ウ、美 エ、機〕

(七) 次の古文の傍線部分を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。

すべきやうもなくてゐたれば、おののおのみなゐぬ。
(「宇治拾遺物語」による。)

(八) 次の訓読文と書き下し文を読んで、あとの各問いに答えなさい。

【訓読文】

（注1）**惠子、謂莊子曰**「**子言無用**。」**莊子曰**「**知無用而始可與言用矣**。夫**地**非不**広且大也**。人之所**用**、容足耳。」
（注2）**莊子曰**「**無用**、而始可與言用矣。夫**地**非不**広且大也**。人之所**用**、容足耳。」

【書き下し文】

君の議論は壮大で役に立たない。
役に立つとはどういうことか。
役に立つといつて論ずるべきだ。
「無用を知りて、始めて与に用を言ふべし。夫れ地は広く且つ
廣大である。
大ならざるには非ざるなり。人の用ふる所は、足を容るるのみ。
地面に足の大きさを測つてはそれ以外の地面を掘り下げたら、
地の底にとどくまで掘り下げたら、
それでも足を置く部分を置くわざかな。
しかし我々の役に立つ部分。
然らば則ち足を廻りて之を墊り、黄泉に致らば、人尚ほ用有りや。」

と。惠子曰はく「用無し。」と。莊子曰はく

「然らば則ち無用の用たるや、亦明らかなり。」と。

（「莊子」による。）
*一部表記を改めたところがある。

（注1）**惠子**——中国の戦国時代の思想家。
（注2）**莊子**——中国の戦国時代の思想家。

① 傍線部分Ⓐ「夫地非不広且大也」を「夫れ地は広く且つ大ならざるには非ざるなり」と読むことができるよう返り点をつけたものは、次のⒶのうちどれか。最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

Ⓐ ウ、夫地非不広且大也
Ⓑ エ、夫地非不広且大也

② 「夫地非不広且大也」を「夫れ地は広く且つ大ならざるには非ざるなり」と読むことができるよう返り点をつけたものは、次のⒷのうちどれか。最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

Ⓐ ウ、夫地非不広且大也
Ⓑ エ、夫地非不広且大也

(2)

傍線部分⑧「然らば則ち無用の用たるや、亦明らかなり」とあるが、この莊子の発言の内容として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

エ ウ イ ア、役に立つとされているものが、やはり役に立つていてること。
役に立つとされているものが、実は役に立っていないということ。
役に立たないとされているものが、やはり役に立つていてないということ。
役に立たないとされているものが、実は役に立つていているということ。

別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。（二十点）

(一) 傍線部分(1) 「最後」と熟語の構成が同じものはどれか。次のア～オから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア、読書 イ、船出 ウ、豊富 エ、曲線 オ、進退〕

(二) 傍線部分(2) 「この」の品詞はどれか。次のア～オから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア、名詞 イ、連体詞 ウ、副詞 エ、接続詞 オ、助詞〕

(三) 傍線部分(3) 「確かめる」の活用形として最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア、未然形 イ、連用形 ウ、終止形 エ、連体形 オ、仮定形〕

(四) 傍線部分(4) 「オノマトペ単体で使われるものが子どもに向けた発話ではよく見られた」とあるが、次の□の中は、親が子どもに向けた発

話においてオノマトペを単体で使う効果について、筆者の考えをまとめたものである。□に入る言葉を、本文中の言葉を使って五字以上十五字以内で書きなさい。（句読点も一字に数える。）

親が子どもに向けた発話においてオノマトペを単体で使うことで、オノマトペの□という効果がある。

(五) 傍線部分(5) 「簡単」の対義語を、本文中から漢字二字で抜き出して書きなさい。

(六) 次の表は、本文に紹介された絵本における、子どもの年齢層^{しょうかいそう}との、オノマトペの使われ方の傾向^{けいこう}をまとめたものである。表の中の□に

子どもの年齢層	絵本におけるオノマトペの使われ方の傾向
○歳	一ページに一つだけ使われる
二歳半以降	重ねて使われる
三歳から五、六歳	□として使われる

(七) 二重傍線部分「子どもの年齢によって、親がオノマトペの使い方を変えている」とあるが、親のオノマトペの使い方が子どもの年齢によって変わるのはなぜだと筆者は考えているか。「……から。」につながるように、本文中の言葉を使って三十字以上四十字以内で書きなさい。（句読点も一字に数える。）

(八) この文章の内容として適當でないものはどれか。次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、間投詞は文の中で文法的な役割を担わず、感情や態度が声として出でしまうような場面で使われる品詞である。
 イ、子どもへの発話と大人への発話のいずれにも、オノマトペが動詞的な役割を担つていると見なせるものがある。
 ウ、○歳児の場合、母語の音や韻律の特徴をつかみ、音韻の体系を作り上げることが言語学習の主眼となる。
 エ、本格的に単語の意味の学習が始まると、単語の音と対象の結びつきを簡単に覚えられるようになる。

A中学校では、総合的な学習の時間に「食文化」についての学習に取り組んでいる。次の【話し合いの様子】は、みゆきさんのグループが発表に向けて集めた資料の一部である。これらを見て、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

【話し合いの様子】

みゆきさん 私たちのグループは「和食を受け継いでいくために」をテーマに話し合いをします。【資料1】から和食が好きと回答した人の割合の変化がわかります。

たくやさん 和食についてみんなの意見をください。

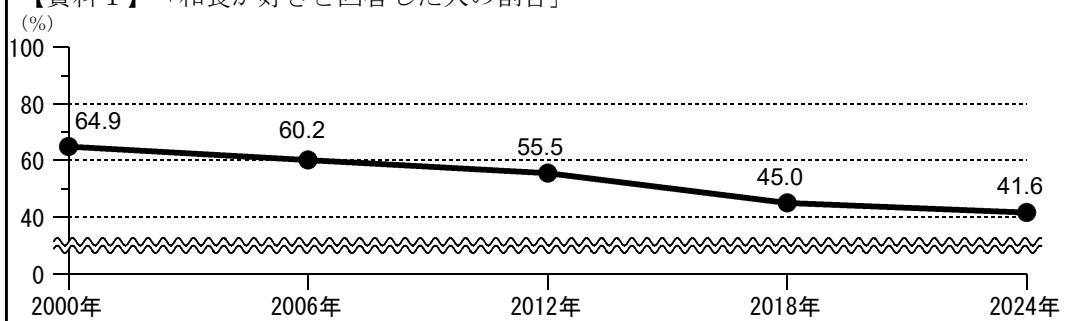
ゆうこさん 【資料2】から和食にはさまざまな特徴があることがわかるね。これらの特徴は和食の魅力だとと思うよ。和食を受け継いでいくためには、まず和食について知ることが大切だと思うな。

そうません たしかにそうだね。一方で、【資料3】から和食にはさまざまな課題があることがわかるよ。課題の原因の一つとして和食の魅力が伝わっていないことがあると思うな。どのように伝えていくべきか考えについて知ることが大切だと思うな。

みゆきさん たくやさんと、ゆうこさんの意見を聞いて、和食について知ること、伝えること、両方が大切だと思ったよ。この二つの視点を持つことが、和食を受け継いでいくためには必要なことなんだね。では、和食の魅力や課題について知ることができたから、次は伝えることについて話し合うのはどうかな。

たくやさん では、みなさんの意見から和食の魅力をどのように伝えしていくかについて話し合っていきましょう。

【資料1】「和食が好きと回答した人の割合」



【資料2】「和食の特徴」

- ・多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重
- ・健康的な食生活を支える栄養バランス
- ・自然の美しさや季節の移ろいの表現
- ・正月などの年中行事との密接な関わり

〔農林水産省「和食を未来へ」から作成〕

【資料3】「和食について心配されていること」

- ・地場の食材を活かした郷土料理が消失していく
- ・若い世代が和食を作ることに苦手意識がある
- ・おせち料理で既製品を購入する家庭が増加傾向など、簡略化が進展した
- ・将来の和食の担い手である子どもたちは洋食好きが多い
- ・子どもと一緒に料理をすることがある人の割合は五割程度である

〔農林水産省「和食を未来へ」ほかから作成〕

(一) 【話し合いの様子】におけるそれぞれの生徒の発言について説明したものとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、みゆきさんは、自らの経験や体験を述べつつ、グループの話し合いの方向性を提案している。
イ、たくやさんは、資料の誤っている点を指摘した後に、自分の気づきや考えを提示している。
ウ、ゆうこさんは、他者の意見を肯定しつつ、話し合いに新たな視点を加えて意見を述べている。
エ、そうまさんは、グループで出し合った意見をまとめ、自分の考えの正当性を主張している。

(二) 【話し合いの様子】の傍線部分「和食の魅力をどのように伝えていくか」について、あなたの考えを、次の「作文の注意」にしたがって書きなさい。

〔作文の注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② 二段落構成で書き、第一段落にはあなたが魅力だと考える和食の特徴について【資料2】から一つ取り上げ、その具体例を書き、第二段落には、第一段落で書いたことをもとに、【資料3】をふまえて、和食の魅力をどのように伝えていくかについて、あなたの考えを書きなさい。
- ③ あなたの考えが的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方にしたがい、全体を二百字以上二百四十字以内にまとめなさい。